

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

# 関西経済レポート

関西の各種指標をみると、一部に持ち直しの動きがあるものの、海外経済減速などの影響から足踏み状態が継続している。

輸出は、中国を含むアジア向けの減少が続き、厳しい状態が続く。

雇用が徐々に改善するも、個人消費は緩やかに持ち直している。

先行きについては、電力の供給制約、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年9月30日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

生産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

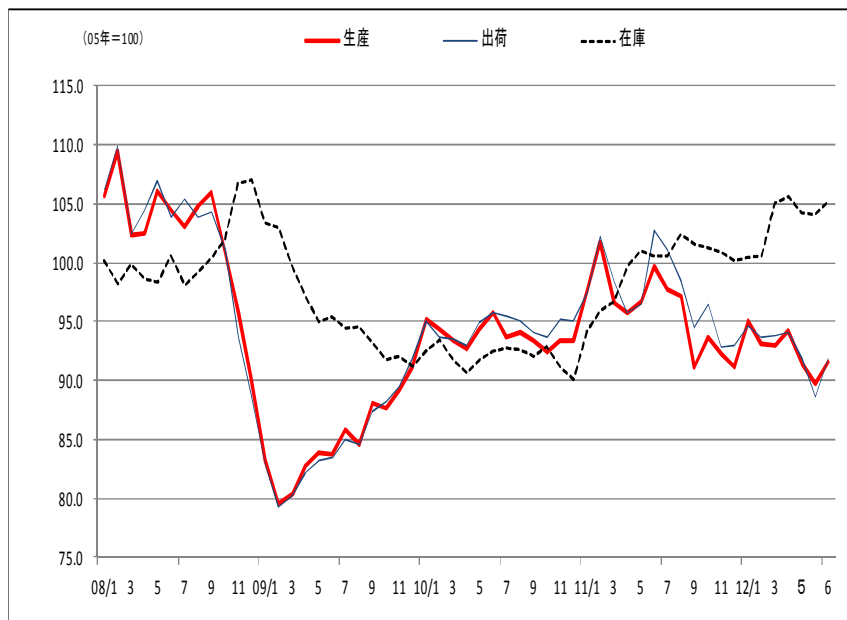
輸出入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

個人消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

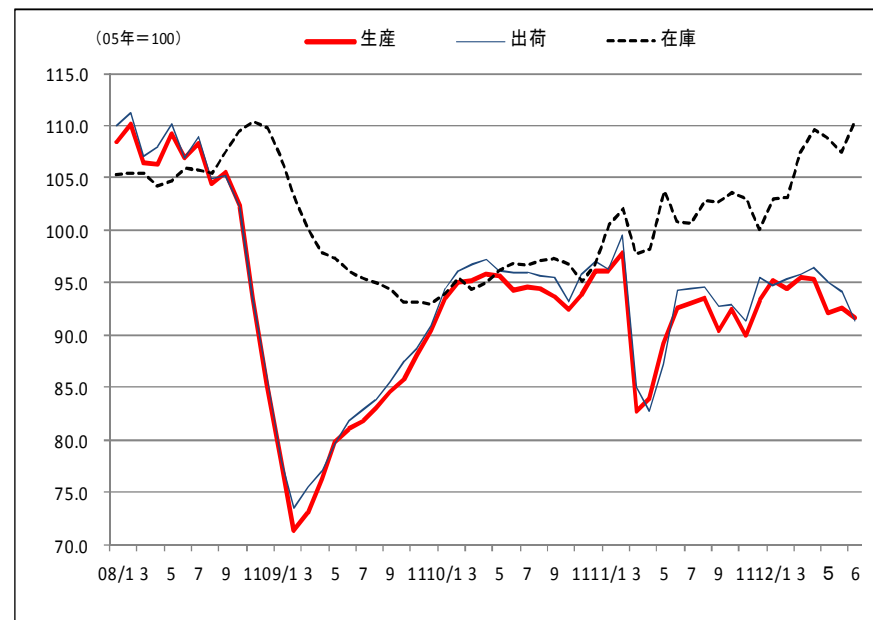
## ～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年7月確報まで）



（出所）近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年7月確報まで）

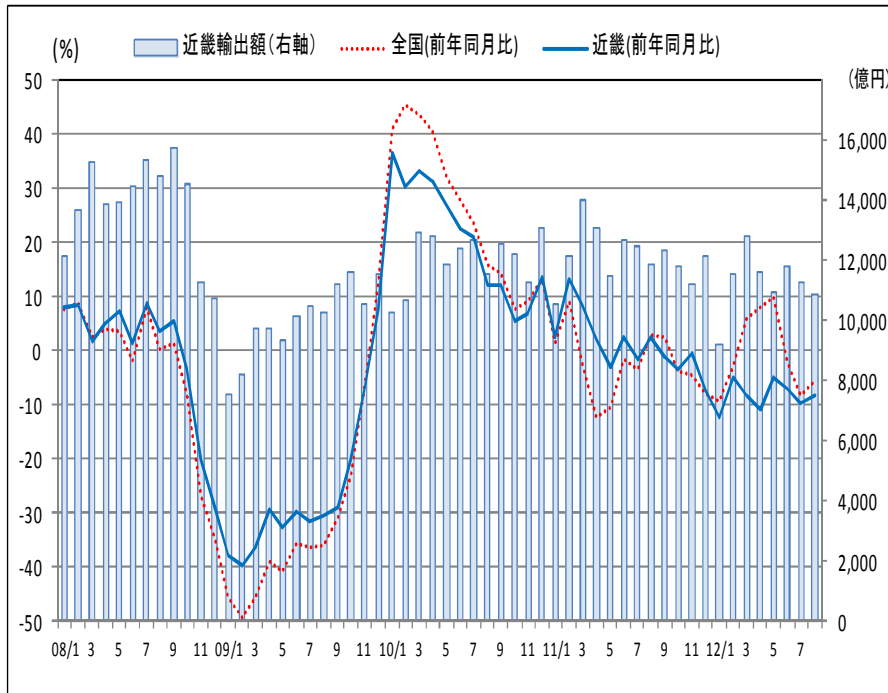


（出所）経済産業省

- ・ 近畿の7月（確報）の鉱工業生産指数は、89.7。前月比▲2.4%と2カ月ぶりの低下。総じて見れば、生産は横ばい。  
出荷は前月比▲3.9%の88.6と、2カ月ぶりの低下。在庫は、前月比▲1.4%の104.0と2カ月ぶりの低下。  
業種別にみると、一般機械工業、電子部品・デバイス工業、化学工業(除医薬品)等の生産が低下。  
品目別にみると、蒸気タービン部品、半導体製造装置、ポリプロピレンなどが低下に寄与。
- ・ 全国の7月（確報）の鉱工業生産指数は、91.7。前月比▲1.0%と2カ月ぶりの低下。総じて見れば、横ばいの傾向。  
出荷は、前月比▲3.1%の91.3と3カ月連続の低下。在庫は、前月比+2.9%の110.6と3カ月ぶりの上昇。  
業種別では、電子部品・デバイス工業、一般機械工業、食料品・たばこ等などが低下に寄与。  
製造工業生産予測調査によると、8月は上昇、9月は低下を予測している。

# ～輸出入～

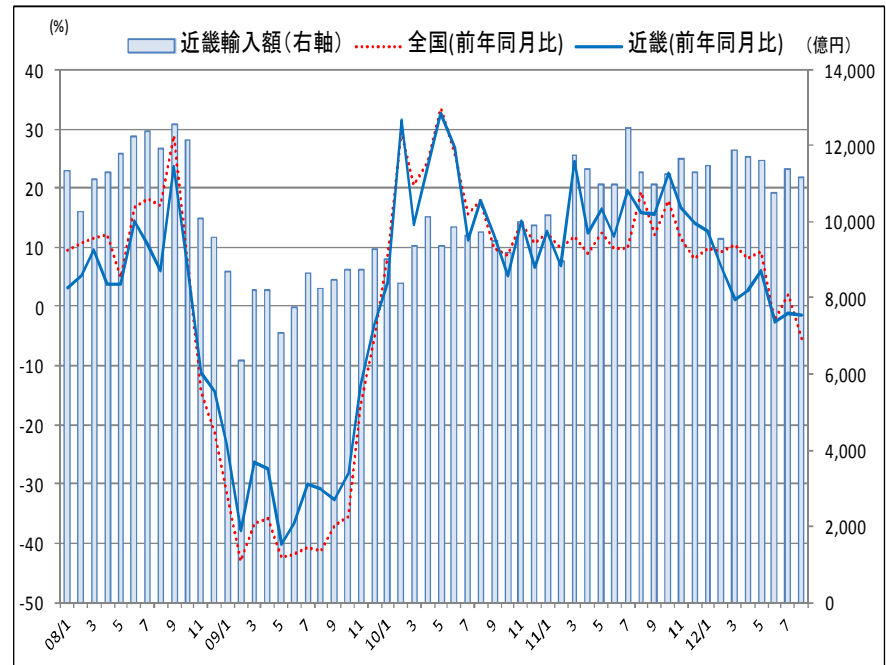
輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年8月まで）



○近畿の月次の輸出動向（2012年8月まで）

- ・ 8月の近畿の輸出額は1兆870億円、前年同月比▲8.2%。  
12カ月連続の前年同月比マイナス。
- ・ 鉄鋼、半導体電子部品、映像機器等が減少。
- ・ 地域別では、アジア向けが前年同月比▲6.2%11カ月連続のマイナス。うち中国向けは同▲9.8%と9カ月連続のマイナス。  
EU向けは同▲25.2%と13カ月連続のマイナス、米国向けは同+1.5%と3カ月ぶりのプラス。
- ・ 全国の8月の輸出額は5兆459億円、前年同月比▲5.8%。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年8月まで）



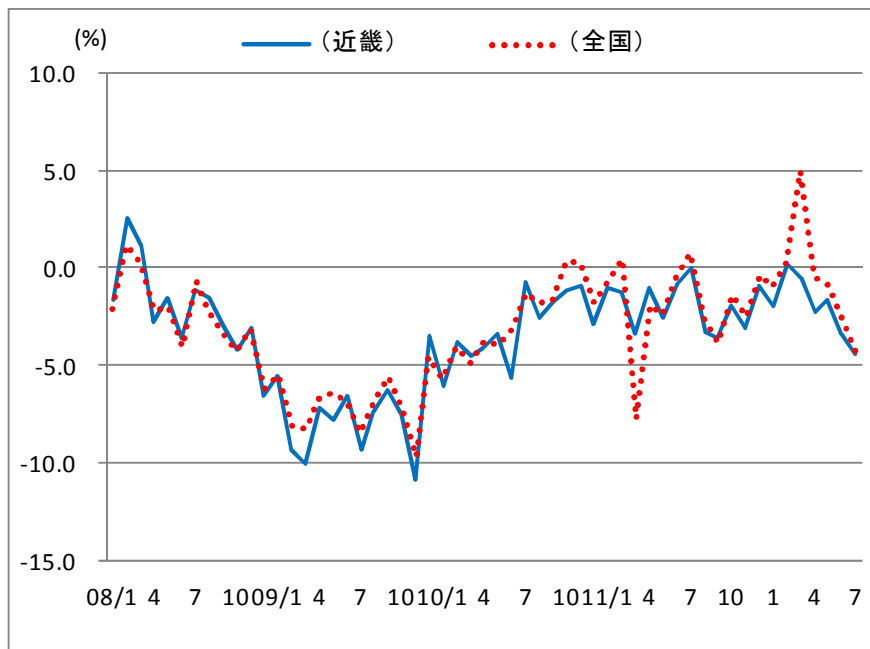
○近畿の月次の輸入動向（2012年8月まで）

- ・ 8月の近畿の輸入額は1兆1,152億円、前年同月比▲1.4%と3カ月連続のマイナス。
- ・ 音響・映像機器(含む部品)、鉄鋼、非鉄金属等が減少。
- ・ 地域別では、対アジアが前年同月比▲4.4%と3カ月連続のマイナス。アジアのうち対中国が同▲5.5%と3ヶ月連続のマイナス。対米国が同+13.0%と2カ月連続のプラス。対EUは同+4.3%と2カ月連続のプラス。
- ・ 全国の輸入額は5兆8,000億円、前年同月比▲5.4%と2カ月ぶりのマイナス。

出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

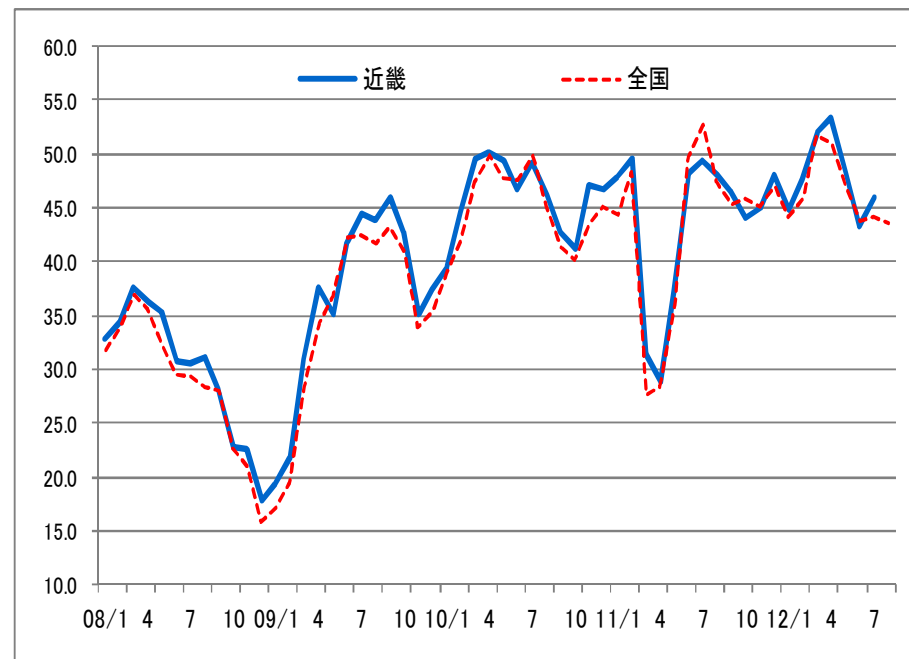
# ～個人消費～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年7月まで）



（出所）近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査（現状判断DI・方向性 2012年8月まで）



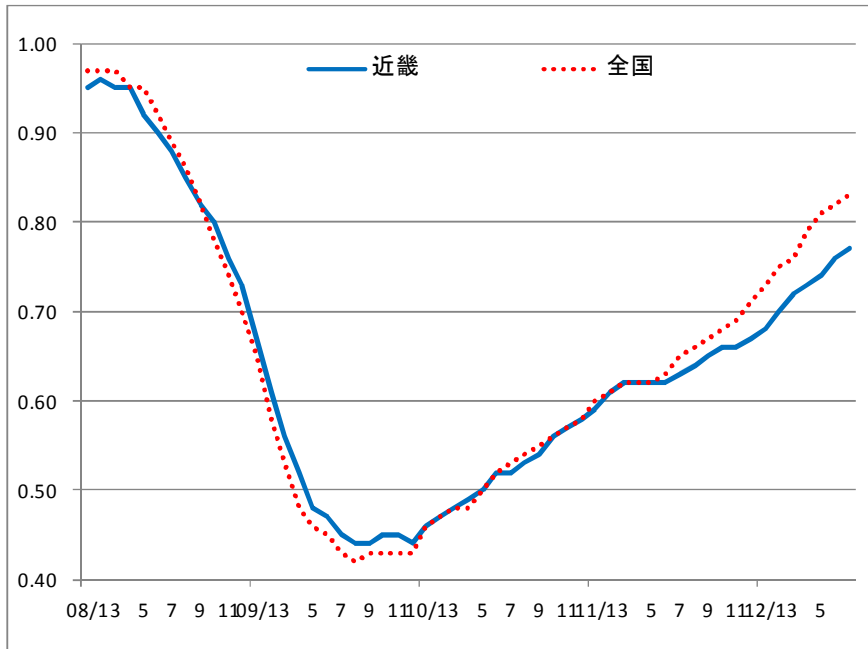
（出所）内閣府

- ・ 近畿の7月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲4.4%と5カ月連続のマイナス。
- ・ スーパーは同▲5.5%と44カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同▲2.7%と、4カ月連続のマイナス。
- ・ 月前半の天候不順による夏物衣料等の売上減少や土曜日が1日少なかったことにより前年を下回った。
- ・ 全国の7月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同▲4.4% 3カ月連続のマイナス。

- ・ 8月の近畿の現状判断DIは前月比▲1.7ポイントの44.2と、2カ月ぶりの低下。猛暑や突然の大雨など、気候要因によって多くの業種で影響を受けたことなどにより低下。
- ・ 企業動向においては、引き続き円高や海外経済減速等による受注の減少等がみられ低下した。
- ・ 全国の8月の現状判断DIは前月比▲0.6ポイントの43.6。
- ・ 近畿の8月の先行き判断DIは前月比▲2.4ポイントの44.6と、2カ月連続の低下。
- ・ 全国の先行き判断DIは同▲1.3ポイントの43.6。

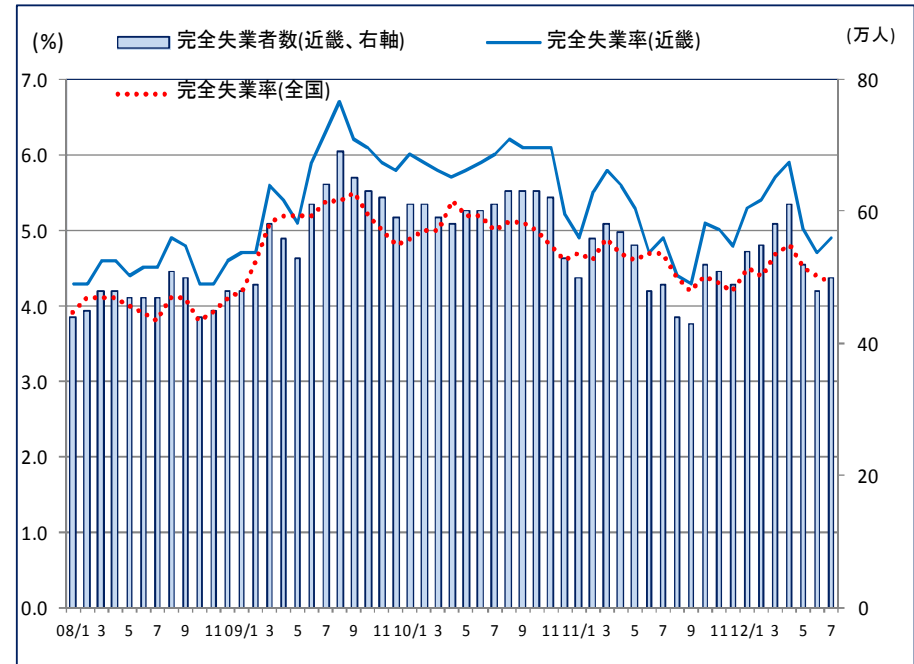
# ～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年7月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年7月まで）



(出所) 総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率2012年7月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
6月	0.82	0.59	0.92	0.81	0.86	0.95	1.04	0.76	0.92	0.86	0.68
7月	0.83	0.60	0.91	0.83	0.85	0.95	1.03	0.77	0.93	0.86	0.67

- ・ 2012年7月の近畿の有効求人倍率は0.77倍、前月比+0.01ポイントと8カ月連続の改善。
- ・ 全国は0.83倍で、前月比+0.01ポイントの改善。

- ・ 7月の近畿の完全失業率（原数値）は4.9%。前月比0.2ポイントの改善。前年同月比では横ばい。
- ・ 悪化したものの、改善の傾向は継続している。

- ・ 7月の全国の完全失業率（原数値）は4.4%、前月から横ばい。
- ・ 7月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.3%、前月から横ばい。